

上り口説 (ぬぶいくどうち)

本調子



工	四	乙	四	尺	工	四	乙	四	合	尺	工	合	尺	工	五	七	五	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ん	ぬ	ん	ど	し	ん	て	い	く	あん	ぬ	ん	ふ	し	う	が	で	い
尺	工	五	工	尺	上	老	上	尺	工	合	尺	工	五	工	尺	四	四

く	が	に	しゃ	く	とう	て	い	た	ち	わ	か	る					
合	尺	工	五	四	乙	合	尺	合	乙	四	上	四	工	四	乙	四	四

む	ゆ	る	ち	む	り	わ	ゆ	を	が	し	ま	さ	だ	ぬ			
合	尺	工	合	尺	工	五	七	五	工	尺	工	五	工	尺	上	老	上

さ	ち	に	は	中	な	ら	で	い	え	中	あ	り	に	み	ゆ	る	
尺	工	合	尺	工	五	工	尺	四	乙	合	老	五	尺	五	七	五	工

わ	う	か	中	む	ん	ふ	じ	に	み	ま	ご	さ	く	ら			
尺	工	五	工	尺	四	合	尺	工	五	四	乙	合	尺	合	乙	四	四

じ	ま																
上	四																

一、旅ぬ出立（んじたち）観音堂（くあんぬんどー）千手観音（しんていくあんぬん）
 伏拝（ふしうが）で黄金酌取（くがにしやくとう）てい立別る

二、袖（すでい）に降る露押払（ちゆうしはら）ひ大道（うふどーまつばら）松原歩み行けば八幡崇元寺（すーぎーじ）

三、見栄地高征（みーいじたかはし）打渡（うちわた）てい袖につらねてい諸人（むるひと）の行（ゆく）も帰るも中ぬ橋

四、沖（うち）ぬ側迄（すばまでい）親子兄弟（うやくちようで）連（ち）りて別ゆる旅衣（ぐるむ）袖と袖とに露（ちゆ）涙

五、船（ふに）ぬ纜（とうむじな）とうくどうくとう船子（ふなく）勇みて真帆（まふ）引けば風（かじ）やまとうむに午末（んまふいちじ）

六、燃る煙（ちむり）は硫黄島佐多ぬ岬に走並（はしなら）でい、エイありに見ゆるは御開門（うかいむん）富士に見紛う櫻島